

## 事後評価シート

農政水産部

番号	事業名 箇所・地区名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象理由 ※2	事後評価の結果 ※3	総合評価	担当課	特記事項												
				着手	※1 再評価	完成																		
	水産資源環境 整備事業 日向灘地区	延岡市 門川町 日向市 都農町 川南町 高鍋町 新富町 宮崎市 日南市 串間市	漁場整備  ( 浮魚礁 沈設魚礁 増殖礁 )	H14	—	H23	5,234	①	<p><b>【1 全体計画】</b></p> <p>①浮魚礁 表層型浮魚礁 5基 中層型浮魚礁 10基</p> <p>②沈設型魚礁 205,405空m3 ※7漁場</p> <p>③増殖礁 592基(3.49ha) ※2漁場</p> <p><b>【2 事業目的】</b></p> <p>本事業は、日向灘に来遊する魚類の蟄集や滞留性を高めるとともに、増殖施設の整備により資源の増加を図り、効率的な操業条件の確保及び生産性の向上による水産物の持続的な利用を確保することを目的とする。</p> <p><b>【3 事業効果の発現状況等】</b></p> <p>1) 魚礁周辺及び増殖礁由来の生産量(トン/年)</p> <p>本事業の漁場整備により、魚礁周辺等で目標を上回る生産量がみられた</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>最終計画</th> <th>整備後 ※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①浮魚礁</td> <td>502</td> <td>1,275</td> </tr> <tr> <td>②沈設魚礁</td> <td>882</td> <td>3,999</td> </tr> <tr> <td>③増殖礁</td> <td>82</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <p>計画目標 1,466トン 整備後 5,317トン</p> <p>〔生産量の算出方法〕 ※H24～27のデータ(③は一部H23データ使用)</p> <p>①曳網、かつお一本釣りの標本船のデータ等により算出</p> <p>②まき網、釣りの標本船のデータ等により算出</p> <p>③増殖礁における産卵状況調査等により、増殖礁由来の漁獲量を算出</p> <p>2) 費用対効果分析</p> <p>事業計画時(H16を基準年として現在価値化) 1.21(7,584/6,287 百万円)</p> <p>事業終了後(H27を基準年として現在価値化) 1.56(9,480/6,074 百万円)</p> <p><b>【4 事業による環境の変化や環境の保全】</b></p> <p>本計画による施設整備により、魚類の蟄集効果がみられ、漁場確保による効率的な操業につながった。</p> <p><b>【5 施設の維持管理状況】</b></p> <p>浮魚礁については、法令に基づく定期点検、監視システム等による日常監視を実施するとともに、緊急事態に対応したマニュアルを整備した。</p> <p>魚礁及び増殖礁については、「宮崎県人工魚礁管理規程」及び「宮崎県増殖造成事業施設管理規程」に基づき、適正な管理を実施している。</p> <p><b>【6 今後の課題等】</b></p> <p>本事業で整備した浮魚礁については耐用年数が10年であることから、的確な効果評価等により、計画的な施設更新を行い、優良漁場の維持を図る必要がある。また、今般、水産生物の生活史に対応した環境整備による資源の回復が求められていることから、資源管理等と連携等した効果的な漁場整備の計画を策定し、生産性の高い漁場の構築が必要となっている。</p>	工種	最終計画	整備後 ※	①浮魚礁	502	1,275	②沈設魚礁	882	3,999	③増殖礁	82	43	本計画では、日向灘におけるを効率的な操業条件の確保及び生産性の向上を目的に、沿岸域から沖合域にかけて魚礁及び増殖礁の整備を行った。これにより、魚礁周辺等で目標を上回る生産量が認められ、費用対効果分析も1.0を超えており、経済効果についても確認された。	漁村振興課	
工種	最終計画	整備後 ※																						
①浮魚礁	502	1,275																						
②沈設魚礁	882	3,999																						
③増殖礁	82	43																						

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載すること。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。